ロータリー財団
研究グループ交換 チームメンバー参加申請書

申請書を記入する前に「研究グループ交換パンフレット」(160-JA)をお読みください。このパンフレットには、研究グループ交換プログラムの概要と使命が説明されています。候補者は申請に先立ち、本プログラムの資格基準と目的を十分に把握しておく必要があります。

アルファベット表記でご入力ください。

連絡先

氏名(パスポートに記載されている氏名)

名　　姓

☐ 男性　☐ 女性　　生年月日 ____ / ____ / ____
日　月　年

郵送先住所

番地

市町村郡／区　　都道府県

郵便番号　　国

自宅電話　　勤務先電話

ファックス　　Eメール

国籍 _____　出生国 _____

緊急の場合の連絡者

本人との関係

氏名　　電話番号

住所

ファックス　　Eメール

職歴:最近のものからご記入ください(常勤であること)

1.

雇用主名と住所

在職期間

役職／任務と責務

2.

雇用主名と住所

在職期間

役職／任務と責務

3.

雇用主名と住所

在職期間

役職／任務と責務

チームメンバー申請者の誓約

研究グループ交換（GSE）チームメンバーの候補者は、一般に認められている事業あるいは専門職務に現在常勤で雇用されており、現在までにその事業または専門職務に少なくとも2年間従事した経験がなければなりません。また、交換での体験を職業で十分に生かすために、交換終了後も相当な期間、その職業に留まらなければなりません。申請する時点で年齢25歳から40歳までであり、居住国の国籍を保有していなければならないほか、派遣地区内に勤務しているか、居住している必要があります。

地区GSEチームのメンバーに選ばれた際、私は次の**補助金授与条件**に従うことを承諾します。

出発前

- チームが訪問・観光をする国で有効かつ支払い可能な保険に加入し、その保険料を支払う。チームの出発日から旅行最終日までの期間に適用される保険に加入する。財団の規則では、**最低**、事故や病気に対応する基本的な医療費、入院費、その他の扶助金に対して米貨250,000ドル、緊急医療搬送に対して米貨50,000ドル、不慮の事故死あるいは四肢を切断する事故に対して米貨10,000ドル、遺体搬送に対して米貨20,000ドルが支給される保険に加入することが義務づけられている。これより高額の保険料、および荷物と個人の持ち物のための損害保険に加入するよう推奨されている。国際ロータリー／ロータリー財団は、ここに記載された保険を義務づけることで、これらの保険が必ずしも参加者を適切に保護するものであることを表明しない。参加者は、訪問先での医療費をカバーするのに十分な補償範囲および補償額について、保険の専門家に相談することが奨励される。国際ロータリー／ロータリー財団は、プログラムの参加者に対していかなるタイプの保険も提供しない。
- 所定の保険加入証明書（研究グループ交換の手引き[164-JA]に収められている）に記入、署名し、地区GSE委員長に返送する。その際、保険会社名と保険有効期間を明記する。保険加入者は、この種の保険の証書をよく読み、完全に理解しなければならない。特に保険の対象とならない例外事項に留意する（例えば、多くの保険は、個人所有の航空機内での死亡や負傷を対象としていない）。
- 健康診断を受け、診断医が記入、署名した所定の健康診断書（研究グループ交換チームの手引き[164-JA]に収められている）を地区GSE委員長に提出する。
- 相手地区と使用言語が異なる場合には、語学や文化の研修プログラムに積極的に参加する。
- 12時間のオリエンテーション、または地域内で提供されている地域GSEオリエンテーション・セミナーに参加する。

交換中

- いつでもチームリーダーの決定を受け入れる。
- チームリーダーの許可がない限り、研究プログラム参加中はグループと行動を共にする。但し、個人的活動が特に認められている期間を除く。常に自分の所在をチームリーダーに知らせておく。
- 研究チームの一員として、旅行中はロータリー、出身地区、自国の不名誉とならぬよう、適切な態度や振舞いを終始保持する。
- 危険が伴う活動には関与しない。
- いかなる種類の医療行為や医療活動にも関わらない。それは、通常の医療措置、外科的処置、歯科治療、感染症との接触を含むが、これらに限らない。教育的プログラムへの参加者がこのような禁止された活動に参加した場合、その活動に参加したことから生じた損害に対し、参加者のみがすべての責任（適切な保険に加入することを含む）を負う。
- 海外滞在中の個人的な雑費を賄えるだけの十分な資金を用意する。

交換後

- 交換後の報告会に出席する。
- 帰国後2カ月以内に、交換留学での体験に関するGSE最終報告書（研究グループ交換の手引き[164−JA]に収められている）とGSE評価書を、GSE委員長に提出する。
- 勧められた場合は、ロータリーあるいはローターアクトに入会することを考慮する。
- 帰国後、非公式の交流やロータリー・クラブ、他の適切な団体での講演などあらゆる機会を利用し、交換で学んだことを伝える。
- 雇用主と共に少なくとも1回クラブ例会に出席し、交換後のGSEチームのプレゼンテーションを聞く。これによって、交換での体験の重要性を雇用主に理解してもらうことになる。

私は、ここに、私または私の後継者、扶養家族、受益者、相続人、遺言執行者、遺産管理人、譲受人が、現在あるいは以後、ロータリー財団研究グループ交換や同交換への私の参加を理由として、またはそれに関連して、いかなる要求、損害賠償、責任、費用も国際ロータリーと国際ロータリーのロータリー財団、それぞれの後任者、役員、理事、代理人、職員に負わせることを解除し、免責します。私は、ロータリー財団研究グループ交換への私の参加を理由として、またはそれに関連して発生しうるいかなる要求、損害賠償、責任、費用も国際ロータリーと国際ロータリーのロータリー財団、それぞれの後継者、役員、理事、代理人、職員側に負わせないことに同意します。この解除と免責は、役員、理事、代理人、職員が担当職務を離れたとしても適用され続け、そのような者の法律上の代理人、後継者、譲受人の利益に帰するものとします。前述の解除と免責は、受入地区の往復旅費には適用されないものとします。私は、旅行の安全に関して財団が下す決定のすべてに従うことに同意します。研究グループ交換（GSE）の過程において、ホスト国でのGSE参加者としての私の安全が脅かされている、あるいは脅かされる可能性があると財団がその裁量にお

いて判断した場合、財団はGSEの旅程の修正、取消し、無期延期を要請することができます。既に受入国にいる場合には、GSEチームは本国に即刻帰還するよう求められることもあります。そのような場合、私は、安全面での懸念から旅行が変更、取消し、延期されたGSEチームに与えられた代替案（そのような案がある場合）に関する、財団の決定に従うことに同意します。

私は前述の条件を快く受け入れ、次のことを了解します。

- チームメンバーを選考する最終的な権限は、GSE小委員会あるいは選考委員会にあります。適切であれば、チームメンバーあるいは補欠候補者をいつでも失格とすることができます。
- 私の言動がチームメンバーとして失格になる正当な根拠がある場合、ロータリー財団に往復航空運賃を返済します。
- ロータリー財団は、派遣地区の出発空港から受入地区の到着空港までのエコノミー・クラスの往復航空運賃を超えない料金で旅費のみを支給します。研究旅行の期間中、地元ロータリアンが受入地区内の宿泊費と交通費を負担します。
- 旅行の安全を期して、時期を早めて帰国するよう要請されたにもかかわらず、滞在することに決めた場合、帰国時の安全面に関わるすべての責任を私が負い、財団からの補助金を喪失することを承諾します。
- 私は次の者ではないことを証明します。1)ロータリアン、2)クラブ、地区、他のロータリー関連組織、または国際ロータリーの職員、3)前記2項の配偶者、直系親族（血縁による子または孫、入籍または未入籍の養子）、直系親族の配偶者、直系尊属（血縁による両親または祖父母）、あるいは同一チームの他のメンバーの配偶者。
- 私は、私と私を候補者として推薦するロータリアンとの関係（職業上または私的な関係）を選考委員会がすべて把握していることを証明します。
- 理解と親善を増進するため、ロータリー財団GSEチームの一員として、自国において公の席に出席する時は、各自の意見に関して個人の権利を尊重し、従って論争をはらむ政治的、人種的、宗教的問題に関する個人的意見を表明することについては慎重を期します。
- ロータリー財団（TRF）は、要請があれば、他のGSEチームおよび財団学友グループに私の氏名および連絡先を提供します。特に書面で明記していない場合、最終報告書に添えて写真を提出することにより、私は、ここに、ロータリーの綱領を推進するための広報を目的として、しかしこれに限定することなく、国際ロータリーおよびロータリー財団出版物、広告、ウェブサイトへの掲示を含め、広報目的のために国際ロータリーとロータリー財団に出版権を委譲します。また私は、国際ロータリーとロータリー財団が私の最終報告書に添えて提出した写真をロータリーの綱領を推進するための広報を目的としてロータリーの関係組織に配布することを許可します。私は、国際ロータリー、ロータリー財団あるいはその他の関連組織に対し、いかなる商業目的のためにもこれらの写真を使用することを許可しません。

氏名（明確にご記入ください）

署名（必ずご記入ください）　　日付

参加希望に関するチームメンバーのエッセイ

研究グループ交換プログラムならではの特徴は、事業および専門職務に携わる優れた人々に他国で同じ職業を見聞する機会を提供することです。本プログラムへの参加を通じ、どのような職業上の経験を得たいか、また長期的に見て自分の職務経歴を向上するためにGSEの体験をどのように役立てたいかを記述してください。別紙に記入の上、添付してください。

職種

以下の項目から、現在の職業に最も近い職種一つに印をつけてください。

経営／事務関係
- ☐ 経営者
- ☐ 会社幹部
- ☐ 部長
- ☐ 監督／課長
- ☐ 所長
- ☐ コーディネーター
- ☐ 顧客サービス担当者
- ☐ 秘書
- ☐ 総務
- ☐ 顧問
- ☐ 研修者
- ☐ 牧師／僧侶

教育関係
- ☐ 大学教授
- ☐ 講師
- ☐ 中学・高校教員
- ☐ 小学校教員
- ☐ 幼稚園教員
- ☐ 託児所
- ☐ カウンセラー／指導員
- ☐ 語学教師
- ☐ 総務

公務関係
- ☐ 警察官
- ☐ 保護観察官
- ☐ 消防士
- ☐ 郵便局員
- ☐ 広報官
- ☐ ソーシャルワーカー／社会事業相談員
- ☐ 犯罪被害者擁護者
- ☐ 軍務
- ☐ 政府

技師／科学関係
- ☐ 建築技師
- ☐ 土木技師
- ☐ 電気技師
- ☐ 機械技師
- ☐ コンピューター技師
- ☐ 環境保全技師
- ☐ 建築家
- ☐ 建設業者
- ☐ 科学者
- ☐ コンピューター・プログラマー
- ☐ ソフトウエア開発者

法律関係
- ☐ 弁護士
- ☐ 判事
- ☐ 書記
- ☐ 弁護士補助員

広告／マーケティング／広報／営業
- ☐ 販売代理人
- ☐ 総務
- ☐ グラフィック・アーティスト
- ☐ 製造専門者
- ☐ 営業員

金融関係
- ☐ 銀行員
- ☐ 分析家／アナリスト
- ☐ 監査役
- ☐ 会計係

自営業
- ☐ コンサルタント
- ☐ 経営者／企業家
- ☐ 農場経営者

報道機関／芸術関係
- ☐ ジャーナリスト
- ☐ 編集者
- ☐ 出版者
- ☐ アナウンサー
- ☐ 報道記者
- ☐ 音楽家
- ☐ アーティスト
- ☐ 工芸家

医療／保健関係
- ☐ 内科医
- ☐ 歯科医
- ☐ 薬剤師
- ☐ 看護師
- ☐ セラピスト／治療専門家
- ☐ 獣医
- ☐ 衛生士
- ☐ 職業関連衛生および安全管理役員
- ☐ 総務
- ☐ 救急救命士
- ☐ 医療専門家

☐ 研究員

☐ 操縦士
☐ 航海士

チームメンバー申請者の学歴（高等教育、技術教育、専門教育）

1. _____ _____ _____
教育機関の名称と所在地　在学期間　取得学位とその年度

2. _____ _____ _____
教育機関の名称と所在地　在学期間　取得学位とその年度

3. _____ _____ _____
教育機関の名称と所在地　在学期間　取得学位とその年度

言語：（母国語以外に）読み、書き、話す能力を備えている言語を挙げてください。

奨学金、表彰、賞金など、特別に授与されたものがあれば記してください。**発行されたことのある掲載記事、パンフレット、本などがあれば、その題名を列記してください。ただし、実物は添付しないでください。**

教育、交友、公共、専門、その他の団体の会員であるか、または会員だった場合はその団体名を列記してください。また、役職についたことのある場合は、その役職名を記してください。

（必要な場合は別紙を使用してください）

ロータリー・クラブによる推薦

_____ 名の申請者を審査した結果、_____ロータリー・クラブは、
（必須）

本申請者 _____ を当地区の研究グループ交換チームのメンバーに推薦し、その申請書を審査のため地区研究グループ交換小委員会に提出します。

クラブ会長氏名（ご明記ください）

クラブ会長の署名（必ずご記入ください）　日付

地区による推薦

第 _____ 地区

_____ 氏は、当地区の研究グループ交換チームメンバーとして選出されました。研究グループ交換選考委員会は、財団管理委員会の方針に準拠し、構成されています。

地区ロータリー財団委員長氏名（ご明記ください）

地区ロータリー財団委員長の署名（必ずご記入ください）　日付

地区GSE委員長氏名（ご明記ください）

地区GSE委員長の署名（必ずご記入ください）　日付

地区ガバナー氏名（ご明記ください）

地区ガバナーの署名（必ずご記入ください）　日付

申請書に記入後、候補者を派遣する地元のロータリー・クラブに提出してください。直接ロータリー財団へ申請書を提出することは避けるようお願いいたします。申請者個人によりロータリー財団へ直接提出された申請書は受理されないため、地区の申請書の提出期限を逃してしまうという結果につながる場合があります。この点、十分ご注意ください。

チームの選考後、地区GSE委員長は、入力済みの本申請書を、ほかの全チームメンバーの申請書、保険加入証明書、健康診断書と共に、Eメールかファックス（1-847-556-2143）で、GSEコーディネーターにご提出くださるようお願いいたします。